

令和2年10月21日

## コロナゼロ！？ キャンパス安全地帯宣言への第一歩か

学長 荒川哲男

10月12日（月）から16日（金）の5日間、本学の全学生・教職員を対象に、新型コロナウイルスのPCR検査を実施しました。

検査を受検した学生1668名（受検率は全体の20%）、教職員725名（受検率は全体の32% 常勤では55%）はすべて陰性という結果でした。

これは素晴らしいことです！これまで、学生・教職員の皆さんが、基本的な感染防御策を忠実に守ってこられたおかげだと思います。ここで陰性だったと気を緩めず、これまで通りマスク、手洗い・アルコール消毒、うがい（お茶か水で口ぶくぶくゴックンでも可）、3密回避を励行してください。

陰性であったことは素晴らしい反面、現時点では感染していないということが分かっただけです。新型コロナウイルスの流行はまだまだ終わっていません。私たちの周囲には常に感染リスクが存在すると考え、多人数での会食やカラオケなどは、引き続き自粛しましょう。

この結果から、キャンパス内では、感染者はゼロに近いと考えられます。このことで、登校することに安心安全が実感できると思いますし、元のキャンパスライフに近づける勇気を、みんなが持つことができます。授業も対面を増やす方向で検討を始めます。

みんなでコロナを正しく恐れて、学内においては、繊細かつ大胆に活動範囲を拡げていきましょう！今後出る指示に注目し、それに従って有意義なキャンパスライフを取り戻そう。

### （検査当日の写真）

